

TOHOシネマズ ららぽーと船橋 11月22日(金)グランドオープン メインスクリーンに独自規格のラージスクリーン「TCX™」 日本初、ドルビーの革新的なシネマ音響「ドルビーアトモス」を導入決定！

TOHOシネマズ株式会社は、独自規格によるラージスクリーン「TCX (TOHO CINEMAS EXTRA LARGE SCREEN)™」と、ドルビーが提供する革新的なシネマ音響「ドルビーアトモス」をTOHOシネマズ ららぽーと船橋のグランドオープン(現南館から西館へ移転)にあわせ日本で初めて導入いたします。

映画の歴史はキネトスコープから始まり娯楽として広がりますが、1950年代にテレビが登場した事により、テレビでは実現できないワイドスクリーンの“シネラマ”が登場します。その後ワイドスクリーン革命への時代に入り、20世紀フォックスの「シネマスコープ」、パラマウントの「ビスタビジョン」など、これらは世の中の主流となっていきました。このようにスクリーンサイズ・音響効果は時代と共に進化を遂げ 2013年、TOHOシネマズは独自規格のラージスクリーン「TCX™」、興行会社としては日本で初めての3次元的な表現が可能な革新のシネマ音響「ドルビーアトモス」を導入いたします。

■「TCX (TOHO CINEMAS EXTRA LARGE SCREEN)™」

家庭における鑑賞環境は、テレビの大型化により、以前よりも大画面で楽しめる時代になりました。TOHOシネマズでは、家庭では決して味わうことのできない大スクリーンで、臨場感あふれる映像体験を経験していただく為に、独自規格ラージスクリーン「TCX™」を誕生させます。左右の壁から壁いっぱい拡大されたスクリーンや、床・壁・天井、そしてシートのカラーをダーク系に統一することでスクリーン以外の光の反射を軽減し、迫力ある映像に没入できる映画鑑賞を提供致します。



■「TCX™」の特徴

- ・ Wall-to-Wall(左右の壁から壁まで)の壁一面に広がったスクリーン
- ・ 床・壁・天井・シートのカラーをダーク系に統一し光の反射を抑えた暗室効果を高める
- ・ 同規模の座席数のスクリーンよりも画面サイズを約120%拡大

※ TOHOシネマズ ららぽーと船橋の「TCX™」スクリーンサイズ:約19m×10m

■「ドルビーアトモス」

ドルビーが提供する「ドルビーアトモス」は、映画サウンドに、より自然で、リアルな音場をつくりだすことで、感覚を刺激する生き生きとした映画体験を提供し、観客をストーリーに引き込みます。映画製作者は頭上を含めて、再生環境のスピーカーの配置に制限されることなく、映画館内のどの位置にでも音を精密に定位または移動させて、よりリアルに、より大きなインパクトを伝えることが可能になるため、観客はまるで映画の一場面に居るかのような感覚に陥ります。

DOLBY® ATMOS™

■「ドルビーアトモス」の特徴

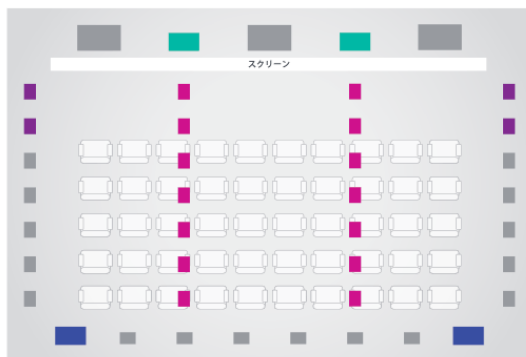
- ・天井に設置されたスピーカーにより高さを含む3次元的な表現が可能
- ・スクリーン・チャンネルとサラウンド・チャンネルを同じクオリティで再生することが可能
- ・スピーカー毎に自在に音を配置し、移動させることが可能

これらにより、自然でリアルな音場や効果をもたらし、より感覚を刺激する生き生きとした映画体験によって、お客様をストーリーに引き込むことができます。

※「ドルビーアトモス」は、海外では全米トップ3の興行会社やヨーロッパ最大の興行会社など、各地域の大手興行会社で導入が進んでおり、全世界で200を超える導入スクリーンがあります。

■「ドルビーアトモスとの比較」

[ドルビーアトモス]



- オーバーヘッドスピーカー
- 追加のスクリーンスピーカー (12m以上の大型スクリーンに推奨)
- 追加のサイドサラウンドスピーカー
- サブウーファー

[従来の 5.1 チャンネル]



ドルビーアトモスのスピーカー配置は、5.1 チャンネルのサラウンドスピーカー配置に、「オーバーヘッドスピーカー」、「追加のスクリーンスピーカー」、「追加のサイドサラウンドスピーカー」、「サラウンド用のサブウーファー」を追加し、それらのスピーカーのすべてを個別に制御し、正確な音の配置と、自然でリアルな音の移動を実現します。